

ショッピング・パラダイス:英国で楽しいショッピングを！

英国人と日本人共通の永遠の情熱といえば、ショッピング！？

英国は、高級ブティックやデパート、一風変わった専門店、刺激的なストリートマーケット等が競い合い、高級志向・低価格志向に関わらず、‘洋服の買い物パラダイス’に急成長中です。

英国でショッピングといえば、まずロンドン。有名デパートSelfridges (www.selfridges.com)を始め、世界的に名の通ったショップが集まっています。Selfridgesは、最近、ライバルのHarvey Nichols (www.harveynichols.com)や Harrods (www.harrods.com)をしのいで、雑誌『Time Out』によりロンドンのベストデパートに選ばれました。99年の歴史がある老舗ですが、斬新なウィンドウ・ディスプレイを繰り広げ常に進化しています。日本人にとっては伊勢丹のような存在？ 創始者Sir Gordon Selfridgesは英国に娯楽としてのショッピングを広めましたが、今でもSelfridgesの広い売り場を覗くとちょっとしたイベント気分を味わえます。

ロンドン以外の地域にも、ファッション好きを満足させるショッピングスポットが。英国での流行の最先端を自負しているマンチェスターには、Afflecks Palace (www.afflecks-palace.co.uk)という現代的な高級ブティックが集まったショッピングセンター。規模でいえば、ニューカッスルにあるヨーロッパ最大のショッピングセンター、Metro Centre (www.metrocentre-gateshead.co.uk)を訪れてみては？ スコットランドのエディンバラには、北部のHarrods的存在、Jenners が荘厳なプリンセスストリートに聳え立つ一方で、グラスゴーには、美しいPrinces Square shopping centre (www.princesssquare.co.uk)や斬新なItalian centreがあります。

また、英国のどこにいても、英国の名物ショップ Marks and Spencer'sを訪れることができます。老舗ながら、若い次世代のデザイナーを採用したり、男性服の宣伝のために David Beckham を起用したり、やや時代遅れのイメージを改革中。そんな、‘Marks’ に立ち寄って、スタイリッシュで手ごろな価格の洋服を選び、美味しいチョコレートマフィンを楽しんでみては？

英国人と日本人は買い物好きであると同時に、やや押しの強い販売スタッフに苦手意識があるかもしれません。英国人は値切りの必要性をなくした定価制度を生み出しましたが。。。日本人のみなさんには、特に外国で洋服を買うときは、さらなるプレッシャーがあるでしょう。では、そんな時に、販売員とのやり取りに役立つ簡単なフレーズをご紹介します！

「ちょっと見ているだけです。‘I’m just looking’ / ‘I’m just browsing’ というフレーズは、熱心な販売員を遠ざけたいとき。

「試着していいですか？ ‘Could I try this on (for size)?’」や、「大きい／小さいサイズはありますか？ ‘Have you got this in (bigger/smaller) size?’」、「これと同じで(黄色)はありますか？ ‘Do you have this in (yellow)?’」も便利なフレーズ。

買うときには、「こちらを買います。‘I’ll take it’」、反対は「やめておきます。‘I’ll leave it’」。一方、「もう少し考えます ‘I’ll think about it’」は、購入を躊躇しつつ、お店を後にする礼儀正しいフレーズ。

とにかく英国のブティックやデパートには、どんな人にも何かがあります。数週間後に始まる夏のセールで、ぜひ自分へのご褒美に夏用の新しい洋服を買ってみてはいかが？

では、楽しいショッピングを！

著作者 フィリップ・パトリック (Philip Patrick) は、ブリティッシュ・カウンシル (www.britishcouncil.or.jp/english) の英語講師です。

Copyright © British Council, All right Reserved.